

理学部

理学部は、自然科学の基礎的分野の教育・研究を通して幅広い視野と探究力を教授し、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、社会の要請に対し、独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材の育成を目的としています。

山形大学の教育目標を踏まえ、教育プログラム（理学）では、理学の幅広い知識を教授して自然の真理を追究する柔軟な発想力と広い視野を育て、分野横断的な教育・研究を重視した先進的な専門教育により科学的な思考力・表現力・方法論を修得させます。卒業後、独創性と柔軟性をもって様々な分野で人類社会の発展に貢献できる人材の育成を目標としています。

理学部の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

数学や自然科学の学修に必要な基礎的な学力，論理的思考力及び主体的学習力を持ち，次の3要素（3つのC）を備えていること。

- Challenge** : 数理の世界や自然界のさまざまな現象に強い興味と好奇心を持ち，真理探究や未知なるものの発見や創造に挑戦できる人
- Cooperation** : 高い倫理観と協調性を持ち，身につけた知識をわかりやすく表現する能力と多様な人々との交流に必要なコミュニケーション能力を持つ人
- Contribution** : 人間社会の抱える問題を認識し，その解決に向けて，理学的な視野で積極的に貢献しようとする意欲をもつ人

以上のような観点から，理学科では，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

理学科

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

理学科で学ぶ上で必要となる基礎的な学力を，総合的に評価するため大学入試センター試験を課します。更に，数学，物理学，化学，生物学，地球科学の中から1分野を選んだ個別学力検査で記述による思考力や表現力を評価します。今までの学習活動及び課外活動は，調査書の内容を総合して評価します。

一般入試（後期日程）

英語及び理数科目に重点を置く大学入試センター試験を課します。今までの学習活動及び課外活動は，調査書の内容を総合して評価します。

推薦入試Ⅰ

調査書により今までの学習活動及び課外活動を評価します。理学分野に関する強い興味と好奇心及び理学をわかりやすく表現する能力を評価するため，数学及び物理に関する口頭試問を含む面接を課します。

推薦入試Ⅱ

調査書により今までの学習活動及び課外活動を評価します。理学分野に関する基礎的な学力を，総合的に評価するため大学入試センター試験を課します。更に，論理的思考力，理学分野への意欲や関心の度合いを評価するため，口頭試問を含む面接を課します。